

講演のご案内

毎年6月に開催されます後援会の定例総会に合わせて、
医学部関係の先生方にご講演をいただいております。

今年は、順天堂大学医学部耳鼻咽喉科学講座 主任教授 松本 文彦 先生に
《学祖佐藤泰然の次男、松本良順の生涯》
と題してご講演いただきます。

学祖佐藤泰然の次男、松本良順の生涯

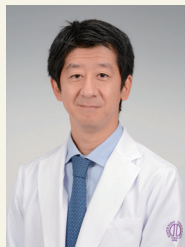
順天堂大学医学部耳鼻咽喉科学講座 主任教授 マツモト フミヒコ 松本 文彦

私は本学の同窓生として、この学び舎に深い愛着と感謝の思いを抱いております。学生時代にここで培った知識や経験は、今の私を形作る大きな礎となりました。学生時代は野球部に所属し、野球にも全力で取り組んでまいりました。日々の練習や試合を通じて培った先輩・後輩とのつながりは、現在でも私の大切な財産です。この学び舎で過ごした時間は、学問だけでなく人間関係や人生の礎を築く機会でもあり、本学に在籍していたことを心から誇りに思っています。このたび、医学部後援会50周年という記念すべき節目に、この場でお話しする機会をいただけたことに、改めて深く感謝申し上げます。また、私は2010年に本後援会の第1回奨学賞をいただくという名誉にあずかりました。この経験は、私にとって大きな励みとなり、医師としての情熱をさらに強める原動力となりました。そのような経緯もあり、順天堂医学部後援会との特別なつながりを深く感じております。

今回は、この場をお借りして、私自身のルーツについてお話しさせていただきたいと思います。実は、私の先祖は本学の学祖である佐藤泰然先生の次男、松本良順でございます。このことについては、これまで自分から公の場でお話しすることはほとんどありませんでした。しかし、この50周年という特別な節目に際し、良順の歴史を皆さまと共有することが、本学の歩みや日本医学の進展を振り返る良い機会になるのではないかと考えました。同時に、この歴史を通じて、より本学の魅力を身近に感じていただければと願っております。

松本良順は、幕末という激動の時代において、西洋医学の導入と普及に尽力しました。彼は幕府の軍医総監としてその実力を発揮し、その後、日本医療の近代化に多大な貢献を果たしました。その功績は、現在の医学教育や医療制度にもしっかりと受け継がれております。本講演では、彼の生涯を振り返りながら、医学における継承と進歩の意義について、皆さまとともに考える時間を持ちたいと思います。

最後に、この講演会を準備してくださった関係者の皆さま、そして本日お集まりいただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。



【経 歴】 平成12年3月 順天堂大学医学部卒
平成15年1月 癌研究会付属病院頭頸科
平成18年3月 順天堂大学医学部大学院 博士号取得
平成20年4月 University of Texas, MD Anderson Cancer Center 留学
平成25年4月 国立がん研究センター中央病院頭頸部腫瘍科医長
平成31年4月 順天堂大学耳鼻咽喉科学講座 前任准教授
令和3年10月 順天堂大学耳鼻咽喉科学講座 主任教授

【専門分野】 耳鼻咽喉科学 頭頸部腫瘍

開催日時

2025年6月28日(土) 15時開始 総会議事からご参加ください

開催場所

順天堂大学 本郷・お茶の水キャンパス10号館1階105カンファレンス

ご不明な点は、TELまたはメールにて医学部後援会事務局までお問合せ頂ければ幸いです。

TEL：090-3223-6703 (担当 はんた 伴田) メールアドレス：med-koenkai@juntendo.ac.jp